

## 令和6年度 仕上げ実技指導力向上研修 実施要項

- 1 目的 民間企業の高度熟練技能者等による講義・実技訓練等を通して、製造現場でのものづくりの考え方や仕上げ作業に関する知識・技能等、総合的な実技指導力の向上を図る。
- 2 対象 高等学校及び支援学校（高等部）の工業（機械）担当教員
- 募集人数 15名

## 3 日時等

| 回           | 日時                                   | 主題等  | 講師等  |
|-------------|--------------------------------------|--|--|
| 1<br>・<br>2 | 8月5日（月）<br>9:00～12:00<br>13:00～17:00 | 安全教育・測定<br>仕上げ作業の基礎<br>仕上げ作業の基本実習1<br>〔講義・実習・協議〕 | パナソニック株式会社<br>エレクトリックワークス社<br>高度熟練技能者等<br><br>大阪府教育センター<br>指導主事等 |
| 3<br>・<br>4 | 8月6日（火）<br>9:00～12:00<br>13:00～17:00 | 仕上げ作業の基本実習2<br>〔講義・実習・協議〕                        |  |
| 5<br>・<br>6 | 8月7日（水）<br>9:00～12:00<br>13:00～17:00 | 仕上げ作業の応用実習1<br>〔講義・実習・協議〕                        |  |
| 7<br>・<br>8 | 8月8日（木）<br>9:00～12:00<br>13:00～17:00 | 仕上げ作業の応用実習2<br>〔講義・実習・協議〕                        |  |
| 9           | 8月26日（月）<br>13:00～16:00              | 課題作品の検討・評価・成果発表<br>〔発表・協議〕                       |  |

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社  
エレクトリックワークステクニカルカレッジ  
(門真市大字門真 1048 番地)

京阪電鉄京阪本線「西三荘」駅下車、北へ約300m  
Osaka Metro 谷町線「大日」駅下車、南西へ約900m  
大阪モノレール「大日」駅下車、南西へ約1,000m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。  
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。  
(3) 自家用自動車・バイク等は研修会場に駐車できません。  
(4) 事前に準備しておく事項があるので、教員研修プラットフォームを必ず確認すること。

(5) 問い合わせ等は、大阪府教育センター高等学校教育推進室（06-6692-1882）まで行うこと。

6 担当室 高等学校教育推進室

一括募集2

令和 6 年度 仕上げ実技指導力向上研修 シラバス

3532

1 目的

民間企業の高度熟練技能者等による講義・実技訓練等を通して、製造現場でのものづくりの考え方や仕上げ作業に関する知識・技能等、総合的な実技指導力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職<br>スタンダード | 共通の指標 |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
|                    | I     |   |   | II |   |   | III |   |   | IV |    |    | V  |    |    |
|                    | 1     | 2 | 3 | 4  | 5 | 6 | 7   | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第 4 期              |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |
| 第 3 期              |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |
| 第 2 期              |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |
| 第 1 期              |       |   |   |    |   |   |     |   |   | ○  | ○  |    |    |    |    |
| 第 0 期              |       |   |   |    |   |   |     |   |   |    |    |    |    |    |    |

3 研修の主題とねらい等

| 回           | 主題           | ねらい  | 内容  | 準備物・事前課題   |
|-------------|--------------|--|---|--|
| 1<br>・<br>2 | 安全教育・測定      | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全作業の重要性を知り、指導に生かせる力を身に付ける。</li> <li>測定器の使用法や測定の重要性を理解するとともに、指導に生かせる力を身に付ける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>KYT などを通して企業における安全衛生教育等について学ぶ。</li> <li>仕上げにおける測定の重要性と求められる精度を学ぶ。</li> </ul> | <b>準備物</b><br>作業服、作業帽、保護めがね、安全靴、指定された測定器等<br>（詳細については後日連絡） |
|             | 仕上げ作業の基礎     | やすりやドリル、リーマなどの工具をはじめとした仕上げに関する基本知識を高め、指導ができる力を身に付ける。   | 仕上げ作業で用いる工具や仕上げに関する基本知識を理論的に学ぶ。   |  |
|             | 仕上げ作業の基本実習 1 | やすりの基本姿勢・基本動作（持ち方・かけ方）や平面加工・平行加工についての技能を高め、指導ができる力を身に付ける。  | やすりの基本姿勢・基本動作（持ち方・かけ方）や平面加工・平行加工について学び、その技能練習を行う。   |  |
| 3<br>・<br>4 | 仕上げ作業の基本実習 2 | やすり作業の基礎的・基本的な加工方法（平面加工・直角加工・平行加工・四面体加工）についての技能を高め、指導ができる力を身に付ける。  | やすり作業の基礎的・基本的な加工方法（平面加工・直角加工・平行加工）について学び、その技能練習を行う。   |  |

|             |                 |   |   |
|-------------|-----------------|---|---|
| 5<br>・<br>6 | 仕上げ作業の応用<br>実習1 | 加工手順の考え方を理解する。                                    | 適切な加工手順について、各自で検討し、適切な（むりなく、むだのない）加工手順を考える。       |
|             |                 | ロッド加工の技能を身に付ける。                                   | 指定時間内でロッド加工を行う練習を行う。                              |
|             |                 | 溝加工・けがき・ボール盤での穴あけ作業のポイントを理解するとともに、指導に生かせる力を身に付ける。 | 溝加工・けがき・ボール盤での穴あけ作業のポイントの説明を受けたのち、実際に練習作業を行う。     |
|             |                 | タップのめねじ切り作業のポイントを理解するとともに、指導に生かせる力を身に付ける。         | タップのポイントの説明を受けたのち、実際に練習作業を行う。                     |
| 7<br>・<br>8 | 仕上げ作業の応用<br>実習2 | これまでに学んだ技能をふまえて、蓋加工の方法について理解を深める。                 | 蓋加工に要する技能の説明を受け、その加工手順について各自で考えた上で、実際に課題に取り組む。    |
|             |                 | 組立の考え方や調整加工、製品の完成法について理解する。                       | 製品の組立や調整加工について説明を受けたうえで、製品を完成させ、製品の完成までの一連の流れを学ぶ。 |
|             |                 | 製品の評価方法について理解する。                                  | 課題の製作に取り組み、製品の測定・採点を行い、出来栄を検討・評価する。               |
| 9           | 課題作品の検討・評価・成果発表 | 課題作品の検討・評価をふまえ、研修成果を今後の指導にどのように生かすかについての見通しを持つ。   | 研修で得た知識・技術・技能や学校への還元など、研修成果について発表し研究協議を行う。        |